隔月誌（平成30年1月発行）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

かなえるレター

5th ANNIVERSARY おかげさまで5周年

K A N A E R U L E T T E R

2018 vol.1 29号

今号の表紙

「お正月」

河内長野市　清水様の作品



作業療法士 小林

手芸が大好きな清水様。以前は、作品を販売したり、友人に頼まれた作品を制作されていました。大好きな手芸を続けていけるように、これからも支援させていただきます。

ご利用者からの”投稿募集”



かなえるレターではご利用者の投稿を募集しています。あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

かなえるリンク　検索

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

〒550-0015
大阪市西区
南堀江1-16-15
名城ビル4階D号室

TEL 06-6531-3500
FAX 06-6531-3510

ご利用者数（H29/12/20時点）

介護保険…	1,068名
医療保険…	424名
その他　…	11名
計	1,503名（社員数132名）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション都

〒604-8375
京都市中京区
西ノ京池ノ内町19-11
御池KSビル202号室

TEL 075-803-0536
FAX 075-803-0537

ご利用者数（H29/12/20時点）

介護保険…	336名
医療保険…	59名
その他　…	0名
計	395名（社員数24名）

— ご利用者とともに —



一つのゴールであると同時に新しい生活のスタート

今回、ご紹介するのは介入時から身体の状態も安定し、平成29年11月末で切れる介護保険を更新せず訪問リハビリを卒業される堀様。

リハビリの「卒業」を目標に

堀様は約2年前より訪問リハビリを開始されました。私が前任者の後を受けて担当についたのは約半年前の今年5月で、堀様が訪問リハビリを卒業するという非常に大きな目標が立った後のことでした。卒業するということは一つのゴールであると同時に、新しい生活のスタートでもあります。その大きな目標に至るまでに、ご自身で抱えていた苦悩や葛藤について、ご自身や当時の担当療法士からのお話も交えお伝えしたいと思います。

「不安」を解消するための検討と実施

堀様は、以前家族や友人達の中で中心的な存在で、みんなを励まし引っ張ってあげる存在でした。しかし、ある日突然、脳出血を患い思うように体を動かすことが出来ず、これまで担っておられた家事や家族・友人の精神的なサポートが出来なくなりました。当たり前のように行っていたことが出来なくなったことに対する不安や寂しさなど、様々な感情が渦巻いていた中、退院して始まった自宅での生活。リハビリの時間がそのような不安に対する相談だけで経過してしまう日もあったそうです。相談していく中で、今の生活の何処に不安を感じているのか、どのようにすればその不安が解消されるのかを一つずつ検討・実施されました。米を研ぐ・食器を洗う・洗濯を干すなどの家事動作をどのように工夫すれば出来るようになるかを考え、時には卵を買い、ひたすら玉子焼きを作る練習をした日もあったそうです。その努力の根源には、「もう一度誰かの役に立ちたい」という思いがあり、今でもその思いは変わらず持ち続けているそうです。

「卒業後」も身体のケアを意識

私が担当してからは、外出時の不測の事態に咄嗟の動きがとれるように、バランスや応用動作の訓練を積極的に行いました。不安を少しでも軽減出来るように、毎回汗をかきながら練習を繰り返し、今では入院中に無理だと言われた車に乗り一人で買い物にも出掛けています。もちろん現在も不安は残っていますが、母親としての家事などの役割を果たしながら、毎日ラジオ体操と三千歩を目標とした散歩を継続し、「身体のケアは卒業しても続けていきます」と強く身体への意識を持たれています。

誰しもが不安な気持ちに押し潰され、立ち止まり下を向いてしまう日もあると思います。その時に、「この記事が再び前を向くきっかけに少しでもなることが出来るのであれば」という、堀様の気持ちに感銘を受けると同時に、私自身少しでも誰かの役に立てるよう理学療法士としての道を歩んで行きたいと思います。



バランスや応用動作の訓練

▸H27.10月	小脳出血を発症
▸H27.12月	訪問リハビリ開始 階段昇降、浴槽の出入り方法の確認、 家事動作の練習（洗濯干し、米とぎ、調理、食器洗い）
▸H29.8月	お一人で車に乗り買い物にいけるように
▸H29.11月	介護保険を更新せず訪問リハビリを卒業

記事：かなえるリハビリ訪問看護ステーション サテライト泉州　理学療法士　田中 俊

リハビリ 豆知識

ヒートショックの原因と対策



理学療法士
糸井 史緒里

「ヒートショック」とは一般的に、急激な温度変化が体に及ぼす影響のことをいいます。室温が急激に変化したことにより体が体温を調節しようと血管が収縮し、血圧や脈拍が上昇します。そのため急な立ちくらみや意識消失につながる場合もあります。冬の寒い時期に暖房の効いた暖かい部屋から寒い廊下やトイレなど場所に行くとその寒さに「ゾクゾク」っと震えることがありませんか?この状態も「ヒートショック」です。特に寒さが厳しくなる冬場に「ヒートショック」が起こりやすくなっているので日々意識的に注意をしていく必要があります。

ヒートショックへの対策は部屋間の温度差をなくすことがポイントです。

◆ヒートショックが起こりやすい場所



・お風呂では、
入浴前にしっかり浴室を温めておく。
熱すぎるお湯は避ける。(温度は41°以下に)

・脱衣室やトイレでは、
寝室やリビングとの温度差が大きいため、ヒーター等の小さな暖房器具の使用をお勧めします。

ヒートショックの原因を踏まえたうえで対策や予防策をしっかり実践していきましょう。

ご利用者「投稿コーナー」



作品

「折り紙」

ご自宅やデイサービスで作品作りを楽しまれています。
細かい部分や牛乳パックなどの厚紙も器用にハサミを使われ制作されます。
笑顔が素敵な方で訪問時いつもその笑顔に癒されてます。

担当: 看護師　徳備



富田林市
O・K様

牛乳パックの花籠



星の折り紙



クローバーの折り紙

※あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか?
詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

かなえる
TOPIC-01

株式会社かなえるリンク「新年のご挨拶」

株式会社かなえるリンク
代表取締役 谷　隆博

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、つつがなく新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

株式会社かなえるリンクは、昨年11月1日に法人設立5周年を迎えることができました。これもひとえにご利用者・ご家族はじめ、地域の方々に支えていただいたお蔭と心より感謝申し上げます。ささやかではありますが、社員とそのご家族と共に5周年記念式典を行いました。総勢180名程出席頂き、日頃お会いできないご家族ともご一緒することができ、感謝の意をつたえる機会となったことも役員一同嬉しく思っております。



昨年は、訪問看護事業では2か所のサテライトを設置し、パーキンソン病関連疾患に特化したデイサービスを開設し新たな通所介護事業も加わりました。創業以来、地域の皆さまにお役に立てるサービス提供を目指し、目の前の課題にひとつひとつ着実に取り組んで参りました。まだまだ未熟な点も多々ありますが、これからも社員一丸となって精進して参りたいと思います。

新しい年が皆さまにとって良い年になるよう祈念致しまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。

かなえる
TOPIC-02

「かなえるプラス勉強会」

かなえるリハビリ訪問看護ステーション
教育研修課 責任者　門田 淳志

毎年恒例の全社員研修「かなえるプラス勉強会」をサービスの向上と社員の意識統一を図ることを目的として開催致しました。今回も外部講師を迎え、非常に有意義な勉強会となりました。

講師には当ステーションのご利用者でもある、第40回創作テレビドラマ大賞を受賞された脚本家の中谷典子様をお招きし、執筆活動に対する思いや、ご自身の生い立ちや生活環境、医療・介護への考えを飾らない言葉でお話し頂きました。社員一同、ご利用者の率直なご意見として真摯に受け止め、身を引き締めるきっかけとなりました。

また、弊社グループ会社の㈱東京リハビリテーションサービスの佐藤氏より「地域への取り組みや事業所体制」、大橋氏より「言語聴覚士が活躍する地域事業」についてをご講演いただきました。地域で働く私達が地域の特色を知り、それに対してどのような活動や支援を行うべきなのか。また他職種への理解を深め、同時に自分の職種の役割を理解することが連携の際に重要なことだと再認識しました。

新たな一年に向かって日々自己研鑽を行い、地域で働く専門職として、より一層成長できる会社を目指しつとめてまいります。



かなえるプラス勉強会の様子

皆さま、新年明けましておめでとうございます。2018年、新しい一年が幕を開けました。昨年のかなえるレターはたくさんの方にご協力をいただき、充実した内容を発信することができました。本年も昨年以上の内容をご提供できるように社員一同精進してまいります。2018年が素晴らしい年になりますよう皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年も何卒よろしくお願いいたします。



編集者　広報課 川口 智之